

2024年3月吉日

桜山保育園

施設長 澤 久枝

保護者各位

「自己評価のご報告」

先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。色々なご意見を目にして、保護者の方々の思いが伝わってきました。今年度から園長が変わり、不安や心配、不満な点が多々あったことと思います。真摯に受け止め、今まで以上に丁寧な保育を意識し、実践に努めます。大変遅くなりましたが集計ができましたので、「保護者アンケート結果」、「職員自己評価まとめ」、「園としての自己評価」を、ご報告申し上げます。

「保護者アンケート結果」 回収率：約79% (％)

No.	項目	そう思う	思わない	どちらとも いえない
1	当園の保育理念・保育目標について理解している	72	0	4
2	保育士はお子さんの気持ちを大切にしている 保育士に気軽に相談できる	73	0	4
3	職員の言葉遣いや態度、服装などが不適切だと 感じたことはない	74	1	2
4	園内は清潔で整理された空間になっている	70	0	7
5	安全対策や感染症対策が十分になされている	71	1	5
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったと きの職員の対応は信頼できる	75	0	2
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの 状態に配慮し、工夫されたものになっている	77	0	0
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は きちんと対応してくれている	73	0	4
9	当園におおむね満足している	74	0	3

*No.1について：未回答1名

・全体的に「どちらともいえない」を選んだ割合が高いのは、具体的なことが見えないというご意見をいただき、その通りだと思い、見える化する大切さを感じております。

・No.2、6、8の園側の対応の仕方につきましても、そう思わせてしまったことに、話は聞くけれど対応

は不十分…と痛感しました。実際に自分自身も、迷った事で対応に時間がかかってしまったことがありましたので、おひとりおひとりの思いを大切に受け止め結果を出すようにして参ります。

・No.3 に不適切と思われた方がいらしたのは大きく反省です。保育士だけでなく、園長、主任を含め全職員が自分の言動を振り返り、この結果を共有し、来年度に反映させ、職員間で注意し合える風通しの良い園にしていこうと考えます。

☆以下、記述欄にいただきましたご意見ご要望です☆（ほぼ原文のまま載せさせていただきます）

<歯みがきについて>

・コロナ禍でも給食後のハブラシあったのに気づいたら無くなってますがなぜですか？仕上げなくて良い食べたら磨く習慣としてハブラシの時間復活させてほしいです。

・子どもの歯みがきを早くやってもらいたい。

＊前年度までの経過は憶測になりますので差し控えさせていただきますが、歯科医から虫歯が増えたりはしていないことを確認し、園で習慣化しても小学校では途切れてしまうことや、歯ブラシの扱いの危険性を考えて再開は見合わせます。

<マスクについて>

・先生方のマスクはいつまでされる予定ですか？顔が子どもたちに見えてない事でコミュニケーション不足に影響しないのか疑問です。感染症対策も大事ですが人間の免疫をつけていく事も大事だと思います。お互い笑顔（表情）がちゃんと見えて生活していく事がなにより子どもたちの安心につながるのではないかと思います。

・園内の先生方のマスクはいつまでするのでしょうか？子どもたちの事を考えると顔が見えてる中でのコミュニケーションって重要だと思います。そもそも毎年園ではウィルスってたくさん出ていたと思います。なのに3年前はだれもマスクをつけていなかったと思います。もうどういうウィルスって事も分かっている。人間の免疫力の大事さ。中心にいるのは子どもたちだと思うので、時代の流れを判断していただきたいと思います。

＊コロナウイルスやインフルエンザに感染した職員が増えて人手不足になると、開園ができなくなるので予防のためもあり付けています。日中、戸外や対面で離れて話したりする場合は外していますが、朝、夕の送迎時は向かい合ってお話する事が多いので、どうしてもマスク姿をお見せすることがほとんどになってしまいます。今後も状況に応じていきますが、何の心配もなく、私たちの笑顔をお見せできる日がくるといいですね。

<行事について>

・幼児クラス、乳児クラスともに行事やイベントなど3年前以前のように通常に戻してほしいです。

・園行事も少しずつ以前の様に全園児で行なえたら良いですね（運動会、保育発表会、さくらやまフェスティバル etc.）

・難しいかもしれませんが……コロナ前のように沼間小学校体育館での運動会開催をご検討いただける

と嬉しいです。

- ・遠足はバスでみかん狩りとか連れて行ってほしいです。

* 観覧していただく行事に関しましては、クラスごとにしてゆったりと見やすくなった、という感想をいただいたこともあります。今年度は、私なりに勇気をもっていくつか枠を外したり、再開したりしたつもりです。来年度も、ゆっくり見ていただくものと、みんなで盛り上がるもの、ひとつひとつ見直して子どもたちの頑張りに応えられる様にしていきます。

今年度運動会が雨で延期になったので、来年度は沼間小学校、逗子小学校に体育館使用を打診しましたが、調整がつかないということでした。現在、逗子葉山高校体育館の返事待ちです。

遠足については、感染症だけの問題でなく、以前はバスの座席に3人座りをしていましたが、シートベルト着用で2人座りとなるとバスの台数が増えるため、参加費の事も考えなくてははいけません。また、久しぶりに復活したらバス遠足の経験の無い保育士も数名いて、戸惑いがあったという事例を他園から聞きました。お弁当を持って公園へピクニックも楽しめたので色々検討中です。

- ・クリスマス会のプレゼントが各個人向けのものが無くなったのは少し残念。

* 父母の会が無くなり資金が難しく、安価な物を1つずつよりサンタさんからクラスに大きな物をいただくようにと考えました。

<安全対策や感染症対策について>

・具体的にどのような対策をされているのかわかっていないため、どちらともいえないに〇をしました。感染症対策として、マチコミなどでもう少し早めに流行状況を伝えてくださると大変ありがたいです。

・毎日ボードに記載していただけるのはよいのですが、多いときは1日1回はマチコミにボードの画像をのせていただくと、休んでいる時もどれくらい感染症がはやっているかわかりやすいと思います。
(インフルエンザ等で数日間休んだ際に園の状況が全くわかりません)

* 確かにその通りでした。スマホアプリへ配信するように改善します。

・先日の能登半島地震を受け改めて地震の怖さを感じました。以下大きく2点教えていただきたいです。

- ① 桜山保育園の建物は昭和57年に建築となっているが、老朽化に伴い耐震性などの確認は定期的に実施しているか？であれば公表してほしいし、してないのであれば行政に相談し早急に対応してほしい
- ② 現実的な防災プランが立てられているか？首都直下型地震を想定した際、働きに出ている親がその日のうちに迎えに來れない事も多いにあり得ると思うがその際の避難計画、備蓄品などは？車も使えず最悪園で夜を越す事などもあり得ると思う。地震が発生した際、ホールは土砂のハザードマップにかかっていると思うが、避難待機場所としてホール以外が計画されているか？いつ地震が起きてもおかしく無いという状況で、現行の避難計画が子どもたちと職員の命を守れる現実的なものか、再確認して欲しい。家庭でもいざ災害が起きたらどうするか？という事も説明したいので避難計画を保護者とも共有してほしい。備蓄品などの費用については、行政や園の運営会社だけでカバーできない場合は、保護者からの寄付なども検討してほしい。→計画に基づいた備蓄品など、趣旨が明確であれば一定の収入がある保護者からの寄付等が期待できると考える。

*耐震診断については定期的な診断の基準は決められてなく平成29年に受けております。実際に3.11の震災では園で夜半過ぎや明朝までお預かりしたお子さんもいましたので、避難確保計画、備蓄品は毎年確認して、然るべき機関に提出しています。今後は、見える化の取り組みのひとつとして正面玄関カウンターにファイルを置き、避難訓練計画とともに事務所在住時間のみ公開するようにします。

<写真について>

- もう少し写真販売があると嬉しい。イベントに限らず、日々の園での様子が写真で思い出に残しておきたいです。
- 写真販売のウェブページがしばらく操作がないとログアウトされてしまい、検討リストにいった履歴も消えてしまう。隙間時間に少しずつチェックしたいのでログインし直すと履歴が復活できる機能のあるものだと嬉しい。
- 日常生活の写真をデータ共有（販売でなくてもOK）アプリを導入してほしいです。
- 親戚、仕事先、友人、まわりがアプリを使って日々の子どもの様子を写真と一緒に共有しているのがペーパーレスにもなり、便利に思います。導入の検討をお願いします。
- 敬老の日のイベントで写真撮影、販売がなかったのがとても残念でした。一年を通して販売が少なくなった気がするのですが園内販売がなくなったからでしょうか（コロナ対策？）

*現在写真をカラーコピーして貼り出し園での様子をお知らせしていますが、ITC化導入で、スマホアプリへ配信が可能になる予定です。販売回数、別会社の取り入れについては、来年度考えていきますが、当初はITC化で手一杯になりますので、少しお時間をいただければと思います。敬老集会の写真販売につきましては、祖父母の方々全員に同意をいただかなくてはならず、それは難しかったです。履歴復活の機能は確認してみます。

<マチコミについて>

- 配布物が少なくなったのはよいのですが、修正や各種申し込みのお知らせが、マチコミで一方向的に感じて分かりにくかったです。また複数の内容が盛り込まれていて、題名と一致しないことが多々ありました。1つのお知らせに題名と内容は1つにして、後から見直した時にわかるようにしていただけると保護者の方々も確認しやすいと思います。また、申し込みが必要な保育参加や個人面談等は、もっと分かりやすいように園内に展示して下さい。気づかずに終わっていたと思った方々も多いと思います。（去年は配布物として手元にあったため確認しやすかったです）

*今後の配信の仕方については、「分りやすく」を念頭に実施していき、資源を大切に紙ベースは極力控えたい所です。就学すると送迎がなくなるので校内掲示のお知らせは基本見れないことを想定し、個々への通信に敏感になる習慣を今からつけていただくようお願いいたします。（今後、マチコミから hugnote になります。）

<保育参加>

- 保育参加も良いのですが以前行っていた保育参観も行っていただきたいです。参観→参加に変わっ

た経緯、「給食を食べる」事が無くなった理由を教えてください。

・先日保育参加をさせて頂き、クラスでの生活や遊びなど真近で見ることが出来ました。娘の《自分でできる事》が増えたことが保育園での生活と結びつき気づくことが出来、有意義な時間となりました。娘も楽しかったと喜んでくれたのでまた参加させて頂きたいと思います。要望として保育参加の時期の回数が増えたら良いかなと思います。

＊来年度の回数は、保育に無理のない時期（6月～7月）に少し増やす事を考えています。又、月間ではなく、年に2～3回の日を決めて「保育参加の日」とすることと、どちらが参加して頂きやすいのかも、今後の検討課題かなと思っています。

参観から参加にしたのは、乳児は隠れて観ていても必ず見つけてしまい、突然の出現に動揺してしまうこと。幼児は部屋の後ろに数名が立っていらっしゃると、お子さんに緊張感が感じられ妙なプレッシャーがかかること。等、不自然な保育になるので、一緒に参加していただくことにしたようです。給食は感染症対策と聞いております。飲食には敏感になっている時期でした。幼児部は来年度から給食の再開を決めていますので楽しみに。

<その他>

・春夏秋冬自然とともにをモットーにされているのでテラスや園庭だけでなくもう少し、お散歩や公園などに行っていたら嬉しそうです。

＊恵まれた環境に甘えず、どんどん出かけたと思います。

・夏場にオムツかぶれをよくしていたので、仕事を増やしてしまうようで大変心苦しいのですが、サッとでもお尻拭きで拭いてくださるとありがたいです。

＊お子さんの様子をみながら、対応いたします。

・今年度になってからお迎えの際に駐車場の混雑をより感じるようになりました。18時前にお迎えに行くのですが、特に金曜日は入り口で待つことが多く、10分以上入れないこともしばしばあります。奥のほうに車がとまっているのか暗くなると見えづらく、以前はあいていることを教えてください保護者の方も多かったのですが、最近はあるいても教えて下さらない方もいたりします。お互いに少し思いやりをもって声をかけあえたりするとよいなと感じています。大きな車も多く、枠からはみ出てとまっている方も多いため、定期的に注意喚起して頂けると幸いです。

＊駐車場整理に出る手がないため、申し訳ないと思っています。園側は呼びかけを増やし、保護者の皆さまには空き状況の共有をお願いして、満車の時間の短縮を目指したいです。

・送迎付きの課外教室と提携して欲しいです。

＊幼児クラスは来年度から「体操教室」を始めます。午前中はクラスごとに全員対象。午後は課外として希望者の方対象です。現在実施している「えいごのじかん」も、ゆり組のみ課外を始めます。

送迎付きとはなりません。登園している間に課外教室として行えるので体験してみてください。

・毎日、栄養やバランスを考えながら、イベント時には見た目も素敵な給食を玄関で見れるのも良いのですが、こちらアプリで共有していただけたら嬉しそうです。少しのすきま時間（自分の都合で見れる）

に確認する事で少しでも送り迎えの時間を短く、駐車場の混雑緩和になり、ペーパーレス、玄関もスッキリするのではないのでしょうか!?

*こちらも感染症罹患状況と同様に、なぜ気付かなかったのかと反省です。ご意見助かりました。

・先生の人数を増やして園児一人一人をもう少し手厚くみてもらいたいです。

*保育士採用は難しく、来年度から定員を減らしました。職員数は変わらないのでさらに丁寧な保育を心掛けます。

・優しく丁寧に子どもたちと接してくださる先生もいますし、時々指導内容や言葉掛けの内容がキツイ印象の先生もいました。

*その場面だけを見聞きすると特に強く感じられるのかもしれませんが、そうだとしてみてもそう感じてしまうような印象を与えるのは、プロとしての自覚に欠けています。園内でもお互いに注意し合っ
て、保育士も環境の一部だと意識していきます。

・幼児クラスは基本的に園児自身でやることが多いと思います。ただし、個人差があり、なんでも言葉にして自己表現できる子とまだうまく表現できない子で、保育していただいている内容に差がないか気になります。上記の場合、各クラスでどのようなご指導を行われているかを知りたいです。

*毎日顔を見て関わっているお子さんのいつもの様子を、担任は驚くほどわかっており、今、嬉しいのか、嫌なのか、表現できない気持ちをすくい上げて思いを代弁することで、信頼関係が生まれます。お子さんが一人ひとり違うように、また同じになる必要も全く無いので、関わり方はもちろん違ってきますが、保育目標に添った保育の中で、保育内容に違いはあっても差はないと、自負しております。

・職員やその関係者のパフォーマンスや来園を、卒園した姉がすごく嬉しそうに教えてくれたことをふと思い出し、もしご負担が少ないようでしたら、そうした特別なイベントなど機会があったら子どももよろこびます。

*機会があれば取り入れていきたいです。

・何事も理由があってそうなったのだとは思いますが、「〇〇で〇〇のため〇〇になった」と、マチコミ園日より等で説明がほしい、ほしかったです。

*確かにそうですね。今年度園長が変わり、色々な「？」があったが故のご意見なのだと思います。反省です。保護者の皆さまと共有することを常に意識していきます。

☆その他のご意見☆（原文のままです）

・人数も徐々に増え、先生方もとても大変だと思いますが優しく見守って下さり日々感謝の気持ちでいっぱいです。最初預ける際は不安と心配でいっぱいでしたが、楽しそうにお部屋へ歩いていく姿を見ると安心します。これからもよろしくお願いします。

・桜山保育園でよかったなといつも思っています。楽しそうに保育園に行ってくれるので、仕事頑張れます。先生方もとても優しくありがとうございます。

- 先生たちのおかげで子どもが楽しくすごしているので安心してあずけることができます！
- 優しく温かく見守ってもらい、子どもたちに寄り添った保育に、日々感謝の気持ちでいっぱい。
- 園生活では、先生方をはじめ栄養士さんや事務の方々にたくさん刺激を受けて、愛情深く接して下さりみなさまにとっても感謝しています。子どもだけでなく、私たち親にも寄り添って頂きありがとうございます。
- いつも温かく子どもを見守って下さり、本当にありがとうございます。なんの不安もなく、子どもを預け仕事をができること、感謝しかありません。今後もよろしくお願い致します。
- いつもありがとうございます。娘はいつもニコニコで保育園に行くので、良い保育園だと思っています。これからもよろしく願いいたします。
- 毎日記録を残してくれていて、とてもよく見てくれているのが伝わります。遊びも飽きない工夫がされていて本当に助かっています。
- 保育園での出来事をノートで教えてくださり、その内容がいつも温かく毎日の楽しみです。ほとんどの時間を保育園で過ごしているので、保育園大好きな子どもの様子を見て感謝の気持ちでいっぱいです。
- 園日よりなどがマチコミ配信になり、確認したい時に見返しやすくなった。
- とても楽しく通っています。ありがとうございます。
- 先生方が愛情をもって子どもたちを見ていてくれることがよく伝わってきます。娘も保育園が大好きで良い環境だと思います。どんな状態でも肯定して笑ってくれるので落ち込まずに済んだことも多々ありました。
- いつも子どもをあずかってくださりありがとうございます。これからも宜しく願いします。
- 今年度も大変お世話になりました。先生方のお陰で、日々自分でやる！、やれることが増え、感謝しております。お迎えの際、時間もない中相談にも乗って下さりありがとうございます。園での生活を楽しく話してくれるので安心してしています。不安ごとにも真摯に向き合ってくれる。
- 今年度も1年ありがとうございました。幼児さんの仲間入りをして、いろんな刺激を受けて、お友達との関わりもより深く過ごした1年だったなあと感じています。お友達との関わりが深くなった分、色々な気持ちも芽生え、気持ちがあふれてしまった時も、本人の気持ちを受け止めてくださり見守って頂きました。日々子どもたちに明るく楽しく接して下さり不安ごとにも真摯に向き合って下さる先生方に本当に感謝しています。いつもありがとうございます!!
- いつも大変お世話になっています。先生方も毎日子どもたちに真摯に向き合って下さり、本当に感謝しています。今後もどうぞ宜しく願いします。
- いつもありがとうございます。楽しく登園出来ているのは先生方のおかげです。これからもよろしくお願い致します。
- 今年度もありがとうございました。なかなかなじめずにいた子も、もう「もっと遊びたかったー」と怒るくらい、保育園が大好きになっているみたいです。来年度もよろしく願いします。

- いつも優しく子どもを迎え入れてくださり、ありがとうございます！
- 園長先生をはじめ、保育士の皆様には保育をしていただき日々感謝しております。
- いつも大変お世話になっております。子を預けても子自身から「保育園で遊びたい！」という言葉が多く、大変頼りにさせていただいております。
- 保護者はひとまず置いておき「子どもへよりそってけている。」ことにまず感謝しています。たとえば子ども同士のトラブルでは保育者が見ていなかったとき、「私は見れていないの子どもたちは～」と憶測で判断することなくわかっている情報を伝えてくれることなど、非常に信頼につながります。お若い先生も生き生きとされていてトラブルの報告（保護者へのも）や子どもにも注意してくれたことなど丁寧に教えてください。たとえば「今日先生に怒られちゃったんだよ～」という子に「なんで怒られたの？」と聞くと、自分が誰に何をしてその時の状況も私にきちんと説明できます。それは先生が注意してくれている時にその理由を納得できるように説明して理解させてくれているからです。それは1人担任なのに補助の方がいらっしゃったとしても子どもと真摯に向き合ってくれているからだと思います。子はマイルドに言ってヤンチャ。素直に言ってどうしようもない。のですが進級してもちろん年齢的な成長もありますが、担任の先生にみてもらって心が成長してきたなと思うことがたくさんあります。不満というか疑問などを尋ねると嫌な顔することなく対応してくださる事、申し訳ないなと思いつつもこちらもすごく感謝しています。
- いつもありがとうございます。園のおかげで仕事できています。
- 保育参加させていただき、子どもたちと楽しい時間を過ごさせていただきました。こうして改めて我が子とお友だちとの関わりや子どもの様子を見ると、色々な感情があって、集団生活の大変さや大切さを感じました。日々、先生方には感謝しかありません。今後とも宜しくお願い致します。
- 私たちが日々安心して生活できているのも、園、先生方のおかげです。いつもありがとうございます。子どもも保育園が大好きでいられるのは、先生方のあたたかい愛情のおかげです。いつも感謝しております!!
- 毎日たのしく保育園に行けているのは先生方が愛をもってみてくださっているからと思っています。ありがとうございます。残り1年と少しですが、よろしく申し上げます。
- コロナが5類になり、少しずつ環境がまた変わってきている中で工夫していただいているなと感じています。
- コロナが落ち着いてきたこともあり、様々な活動が復活して良かった。季節に応じた遊びや、異年齢との交流も多くありがたいです。今年の生活発表会では、とってもかわいい衣装も用意して頂き、子どももとても喜んでいました。お忙しい中、製作して頂きありがとうございました！先生方のお陰で、毎日楽しく、安心して登園することができました。卒園までどうぞこれからもよろしくお願い致します！
- 子どもたちに寄りそった保育をしていただき感謝しています。不安なことなども相談しやすいので、とても安心してしています。ありがとうございます。

- ・今年もあっという間の1年でしたが、園での生活で本当に沢山の成長が感じられた1年でした。ゆり組さんになったことで最年長の期待も不安もあったと思いますが、下の子への接し方やすすんで教える姿、助けてあげる姿…先生方が日々教え伝えて下さり、お友だちにも沢山刺激をもらい、発表会での姿はさすがにゆりぐみさんだなあ！と思わせてくれる立派な姿でした。心配事がある時もきちんと気にかけて真摯に向き合って下さり本当に感謝しています。
- ・いつもありがとうございます!! 安心して通わせていただけてます!!
- ・下の子への接し方やすすんで教える姿、助ける姿。日々教え伝えてもらい、友だちにも刺激をもらいたくさんの成長が感じられた。
- ・子どものよい所も、これから直していくべきところも、正しく伝えて下さり、共により良い成長を支援していこうという先生方の姿勢がとてもありがたかったです。子どもは毎日安心して通っていました。も懲り3か月…卒園までどうぞよろしく願いいたします。
- ・合計8年間、桜山保育園の先生方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。毎日安心して子どもを預けることができました。子どもも保育園生活を楽しく感じてくれており、先生方のことが大好きでした。悩みごと、不安なことなども話を聞いて下さり、受け止めて下さり、うれしかったです。ありがとうございました。
- ・先生方が温かく、とても大好きな園です。いつもありがとうございます。

たくさんのご意見、ご要望、そしてありがたいお気持ち。職員一同励みにして、また頑張ってまいります。
～今後もどうぞよろしく願いいたします～

☆ 「職員自己評価まとめ」 ☆

常勤職員に実施した自己評価のまとめです。今年度も7項目について、各自が一年を振り返り、自己評価を行いました。

子どもの最善の利益を考慮する（声かけ・言葉遣いなどを含む）

- * 自己肯定感を引き上げる声かけ、プラス安定した感情でする声かけ、難しかったです。が念頭に置いて行いました。
- * 現場の保育士とは違う視点でとらえ、客観的にみて保育士と子どもに伝えるようにした。
- * 子どものペースを尊重し、子どもがやる気になるような働きかけをする。
- * 1人1人に丁寧に向き合い、優しい言葉がけを心がけるように接しています。できる限り児らの言葉に耳をかたむけるようにしています。
- * 一人ひとりに関わろうとすると、全体への配慮が欠けてしまったことに反省している。年齢に応じて子どもが自分で考えられる環境づくり、又援助を行なっていきたい。
- * 時に口調が強くなってしまいうこともあり、その都度言い方を変えてみたり1人1人に対応した。
- * 子どもたちが、自己肯定感を高めて行けるような関わりや声かけを心掛けた。

*子どもたちが日々安全に安心して園生活を送れるよう優しい声かけやスキンシップを多く取りコミュニケーションを図った。

*0歳児は言葉でのコミュニケーションが難しいため、児が何を求めているのか、又、児が安心して過ごせるように努めた。やりたい、やらせたいではなく、児の興味が何であるかを常に考えた。

*子どもの心や体を傷付けない関わり方を第一にしつつ、伝えるべき事はある程度の厳しさも持って知らせていった。

*子ども自身が簡単な身の回りのことに取り組みよう、無理強いせず言葉かけをしていった。

*1人ひとりの成長に合わせて関わっていった。

子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場を提供する

*児等が気持ちよく生活しやすいように生活の場を整えていった。

*天気の良い日には戸外へ出かけ、体をたくさん動かせるような活動を取り入れ、室内遊びも展開していった。

*子どもが安心して甘えられる大人であるよう努力した。児が安心できるよう、保育士同士のコミュニケーションをしっかりと行い不適切と思われることは伝えるようにした。又、自分の行動も見直した。

*インクルーシブ保育への学びが足りなかったと実感。もう少し何か出来たのではないかと思う。

*年令なりの発達出来るよう室内遊びが伸び伸びと行える環境を整え、一人ひとりの生活リズムを大切に配慮しながら保育を行った。

*子どもたちと一緒に考え作っていくことも多かった。まだできることもあったのではないかと思う。

*身の回りのことに取り組み自立できるよう、生活を見直した。家庭でも取り組んでもらいたい旨を伝えたいがいまいち伝わらなかった。

*安心して過ごせる環境作りを心がけ、不安を感じている児がいれば寄り添い心身共に健康でいられるよう努めています。

*子どもたちにとって安心できる場や人となるよう心掛け、毎日が楽しく過ごせるよう保育を進めていった。

*園舎外の環境整備を整え、安全に子どもたちが過ごせるようにした。

*子どもの居場所づくりは第一に安心して過ごせることなので、部屋以外の外を中心に警戒しました。

一人ひとりに応じた関わりかたや配慮をする

*基本的なところはすれないように平等に関わるように心がけた。

*一人ひとりの性格を理解したうえで、子どもの目線や何を考えているのかと思いをめぐらせ関わりをもっていった。

*児らの表情や行動に注視し、スキンシップをはかったり、必要な時には真剣に諭すことも行っています。決して感情的にならないようにこころがけています。

*できる限り一人ひとり関わろうと心掛けています。その中で、友だちとの関わりも増やしていけるよう遊びながら配慮した。生活の中でも子ども同士でのやりとりを優先しつつ、援助が必要な場面が多い

ことを改めて感じた。

*なるべくじっくり関わるようにしたが難しさも感じた。

*食事や睡眠の様子等、家庭と連絡を密に取りながら、児の様子に合わせて仮眠を取る等個々の生活リズムに配慮し関わった。

*特定の児との関わりが多くなり、一人ひとりが納得出来る関わり方が出来ていなかったのではないかと申し訳なさを感じている。

*月齢の差が1番出ているクラスなので、一人一人の成長など毎日観察し、関わり方や目標を考えた。その中でも、全員平等に接することも意識した。

*個性を認めつつも、偏りの無い関わりが持てるように気を付けていった。

*月齢に応じ、自分でできることは見守り、難しい部分は援助をし励ましたりしながら自信へ繋げていった。

*1人ひとりの成長を把握し、児1人ひとりに合わせた援助を行い、できた喜びが感じられるように関わっていった。

*個々の発達や思いに気づき、出来る限り応えられるよう努力をしていった。要求の強い児ばかりに目を向けるのではなく、控えめな児に対しても声掛けをしていく等の配慮を行った。

*一人ひとり、性格や気持ちに違いがあるので、出来る限り、個々の関わりは大切にしていこうと心掛けた。しかし、集団として活動している中で配慮しきれていない部分もあり、正直もどかしくも感じた。子どもたちと向き合う時間が十分にとれないことがある。自分自身の技術不足でもあるので改善したい。

養護と教育が一体となった保育を展開する

*子どもたちが家庭の延長線上で過ごせる安心・安全な場を意識した。保育園でうけられる教育とは？をもう少し考えたい。

*安心出来る環境を整えた上で挨拶や身支度等出来ることを増やしていけるように導いた。リズム体操・外遊び等で身体を十分に動かせるように配慮した。進級に向けて集団で活動する時間を増やした。

*児らの思いを受け止めながら、ダメなことはしっかりと根気よく伝え、他児や保育士との関わりを楽しめるような保育を心がけた。

*共に遊び笑い、怒り、「子どもたちと一緒に」ということを心がけ行った。

*一人ひとりの関わりを大切にしながら友だちと関わることの楽しさが感じられるように関わっていった。

*日中パンツで過ごす児も何人かいた為、遊びを妨げないよう児のタイミングを見て、トイレへ誘い促していった。

*子どもを預かり、家庭内だけでは出来ない様々な経験を通し、子どもの成長を保護者と連携しながら見守る。年齢に応じて、基本的な生活習慣が身に付いていくよう段階的に進めていった。

- *発表会の練習では、少人数で取り組むこともしたが、子ども同士で教え合う姿があり、みんなでやりとげた達成感を味わうことができた。
- *子どもたちに受容的かつ応答的に関わり、安心して日々を過ごせるように心がけ、一人ひとりの感じる心を育めるよう、まわりの自然と関わったり、感触遊びや製作を行った。
- *子どもの思いを聞きとり受け止めつつ、問題の解決については自分たちで行っていけるよう見守る保育を行うようにした。難しい所では声を掛けつつも、自分たちで解決できると納得して気持ちを切り替えらる姿があり良かった。
- *個々の発達や心の動きや変化に合わせた関わりが出来るようにした。児の思いを受け止め、言葉で丁寧に伝えていけるようにしていった。
- *安心して過ごせるよう、子どもとの関わりを大切にし、少し難しい遊びに誘う等、子どもの成長が見られるよう関わりを持った。情緒の安定を図りながら、子どもが保育者の手をかりず、遊びに参加したり、身支度ができるように保育内容を考えることができるようになった。
- *進級に向けて身につけたい事等を生活の中でくり返し伝えるようにしていった。物の管理や整頓、自分の思いの伝え方や表現を子ども自身で考えながら行えるよう知らせていった。
- *体も心も成長している中で、「自分でどのようにしたいか、今何をしたいのか」と自分で考える機会を設けてきた。まだ答えを出しきることが出来なかったり、表現出来ない児もいるので一緒に考えたり、答えを分かりやすく2択にしたりと、自分で答えが出せるよう関わっていった。

人的環境・物的環境・空間・自然や社会現象など工夫する

- *誕生会では、おやつに旗を立てたり、行事食では、子ども達が喜ぶ食事を提供することができた。
- *コロナ禍で消毒する場所やタイミング等他の職員と相談しながら行った。
- *子どもたちが安心・安全に過ごすことが出来るように保育室内の物の置き場、保育者の位置に配慮した。外遊びの時には季節の変化を伝えられるよう、虫・畑の作物・霜柱等を紹介し、自然現象を感じられるようにした。
- *体の動きと成長に合わせた運動遊びの展開や、まだ経験したことがないだろう現象（水あそび・雪あそび）などに積極的に取り組んでいった。
- *人的環境がとても大きく大切なものということを感じた。現状でもたくさんのもものに触れ、感じ、楽しむことができるよう意識し行った。
- *色々な素材や季節に合った題材を選び、児等が「やってみたい」と思えるように工夫していった。
- *季節の変化を感じられるよう壁面装飾をしたり、室内遊びの際は、他の保育室も活用し、遊びを展開していった。
- *四季に合わせた行事を知り、会に参加して楽しんだり、製作をこまめに行い、季節を感じる事ができるよう保育を展開した。また、子どもの目線に合わせ、生活がしやすい、わかりやすいよう、室内の環境を整えていった。
- *コロナ禍や夏の厳しい暑さの中でも出来ることを考えた。散歩の回数が減ったりクッキング等難し

いものはあったが、畑のじゃがいも・さつまいもも豊作、きゅうり、大根も収穫したり草花で遊んだり四季を感じながら過ごすことができた。

- * 清潔で安全な環境を整え、子どもたちが主体的に関われる遊びの環境や生活の動線を他の職員と協力し整えることが出来た。
- * 子どものやりたい思いを叶えられるよう環境を整えていたり、季節や成長を考え、経験して欲しいことを取り入れた活動を考えるようにした。
- * 友達同士の関わりが増え、トラブル等多く見られるようになったが、その都度言葉で伝えていけるよう仲介していった。園庭や散歩先にて自然に多く触れられるよう共に観察したり探索出来るよう関わった。
- * 危険な箇所を見直したり、遊びに使えるものは取り入れるようにした。又、外に出た際には、自然について話したり、子どもに伝えていくことで、外へ行くことを楽しめるようにできた。
- * 社会情勢等により保育の内容にも制限が多い1年であった。その中でも今、出来る事や子どもたちが関心を持っている事に気づき、活動を行うようにしていった。
- * コロナ対策をしながら、どのように保育、生活していくか、保育士同士で意見を出し合うことで自分が気付かなかったことにも気付くことが出来、改善していった。又、自然環境では、園舎自体が影響が出やすい環境にあるので常に気をつけていきたい。

保護者・家庭との緊密な連携を持ち支援する

- * 子どもたちが抱える家庭環境や保護者の様子等を考え支援策を考えるようにした。
- * 保護者との情報交換を大切にし、子ども一人ひとりの日々の変化に配慮した。担任同士の連絡・報告も密に行い、クラス内で情報の漏れがないように注意した。特に食事・午睡時間に配慮し、保護者と共に子どもの体調管理に努めた。
- * 家庭での様子や取り組みを聞き、園での様子を伝えることで児らの成長を共に喜びわかち合うことで信頼関係を築くよう心がけた。
- * 説明・対応不足は多々あったと思うが、ご理解ご協力を多々して頂いたと思う。
- * 園での様子を伝えたり、家庭での様子や気になることなどを伺い、家庭と園との連携をとるよう心掛けた。
- * 登園時、子どもの様子を聞いたり、降園時には一日の様子やできた事等を丁寧に伝えていった。
- * 連絡帳に加え、行事、製作時だけでなく、普段の保育の様子を時折、写真を撮り、掲示することによって園での様子を更に知ってもらったり、保護者と子どもの間で会話の材料になるよう考え、行った。
- * コロナ禍、必要最低限でのコミュニケーションとなる中で、できる限り会話をし、信頼を得られるよう心掛けた。
- * 子育てパートナーとして保護者へ寄り添う努力をしつつ、日中の様子を伝えたり、必要な援助を求めるなどし、子どもの利益も守れるように心がけた。

- * 保護者が安心して子どもを預けられるよう信頼関係を築けるように努めていった。状況等説明をする中で、上手く伝えられず、困惑させてしまうこともあり、言葉選び等のスキルがもっと必要だと感じた。
- * 保護者との関わりの中で、その日の子どもたちの様子や成長した面など伝えられるようにしていった。
- * 家庭との連携がとても重要であることに気付くことが出来た。又、毎朝の様子や休日の過ごし方を知ることで、保育中どのように関わればいいのか考えることができた。はじめは緊張することが多くあったが、日を重ねるごとに、相談などもしてくれるようになり、来年度はもっと緊密な関係が築けるようにしたい。
- * 健康状態や怪我の報告の他、子どもの表情やつぶやきの中で気になる事があった時は様子を伝え、確認を行った。又、保護者と共に成長を見守る姿勢に努めていった。
- * 信頼の積み重ねだと、日々、心がけている。日々子どもたちの成長や変化を共有することによって、保護者と連携を取れるよう意識した。又、保護者自身の気持ちにも寄り添い、子どもを思う気持ちや子育ての大変さも共有していきたいと思っている。

資質向上を考え研修を受ける

- * 神奈川県保育エキスパート等研修の食育・アレルギー対応を受講できた。コロナ禍での食育の進め方、また、アレルギーについての心構え等勉強になった。
- * 食物アレルギーについての研修を受け、疑問点などを理解し、仕事に活かすことができた。
- * リモートをうまく活用しながら職員がキャリアアップ研修等参加出来るようにした、来年度はもう少し増やしたい。
- * アレルギー児対応の研修を2回受講できたので、園内研修を行う等の機会を設け、他職員と情報共有できるようにする。
- * コロナ禍であったため、今回は研修を受けることがかなわず、残念でならない。
- * 園外の研修は行くことがなかったが、園内での日々の保育、話し合いの中で学ぶこと、保育を振り返ることはできたと思う。
- * コロナウイルス流行中のため、園外の研修に参加できず残念であった。
- * エピペンを使用すべき症状や使い方、アレルギー児への対応等、研修を通して学ぶことができた。
- * 療育センターでの研修や保護者支援、子育て支援についての研修を受けさせていただき、自身の保育や人との関わりを見直すことができた。自身だけでなく、他職員に研修報告し、特に同じクラスの職員には学んだことを共有できるよう努めた。
- * 幼保小の会議などに参加でき、勉強になった。
- * 園内研修では、書類や保護者対応などの基本へたち返り、学びを実践に活かすことが出来た。
- * 今年度は外部研修への参加はほとんどなかったが、防災係として自分から園内研修を開く機会を多く持て、相手に伝える難しさ、また新しく知る知識も増え、良い経験となった。

* 応急処置について学び、防災係として、園内研修で行う事が出来た。

* アレルギー対応の研修を受けた。現在行っている対策の足りないところや、過剰なところ、良いところがわかった。エピペンの使い方も知れて、とてもためになった。アレルギーを持つ子は多く、今後も今年度工夫したことを生かしていきたい。

* 外部の研修については今年度の受講は出来なかった。園内研修への参加、及び、進行係として資料の作成を行う中で学びが多くあった。又、日々の保育で必要な事等を自分なりに調べ、活かせるよう、心掛けた。

* 当たり前になっていた業務、ちょっとした違和感に対して、園内研修の中で様々な職種・視点から考えや意見が出てきて、その度改善されていくことが大切であることを、今年度の研修で再確認した。

「園としての自己評価」

皆さまからたくさんいただきましたご意見や感想、職員の自己評価を読み、来年度もお子さん一人ひとりを尊重していくこと、そして、コロナ禍での保育はまだ続くと考えますので、安心安全な保育環境を整えることを大前提とし、その上で以下3点について目標を掲げ、保育を進めてまいりたいと思います。また、職員の働く環境や処遇といったところにも注視し、少しでも改善していきたいと思います。来年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

- ① 豊かな自然に囲まれた環境を活かした保育
- ② 食育、季節の行事を大切にした保育
- ③ 地域との触れ合いを大切にした保育